

※小田急線 相模大野駅下車 徒歩10分

【対面開催】近代日本のはやり歌を知るⅣ～レコードに録音された文化

時代、時代によって生まれてくるはやり歌の数々。これらはレコードが出現する以前は歌い継がれなければ消えていくものでした。しかし近代になりレコードという録音複製技術ができることによって、はやり歌もその立場が大きく様変わりします。この講座ではレコードを軸に、近代日本のはやり歌の諸相と文化について考えてみたいと思います。

最終となる第5回には音曲師の柳家小春先生をお招きし、講義で扱ったはやり歌の実演をしていただきます。実際に聴いてみていただき現在まで残るはやり歌の魅力について考えてみましょう。

【受講料】 1,300円

【受講料以外の費用】 なし

【時間・場所・定員】

- 10:00～11:30
- 茜館 催事場
- 定員44名

【その他】

- タイトルが「近代日本のはやり歌を知るⅣ」となっていますがⅠ～Ⅲとは内容的な連続はありません。この講義のみ受講の方でも問題なくご参加いただけます。
- 車でのご来校はご遠慮ください。

【講師】 ①～⑤非常勤講師 寺田 真由美
⑤ 音曲師 柳家 小春

【開講日と内容】 (全5回)

- ① 7月 6日 (水) レコードとはやり歌 (1) - 記録・保存
- ② 7月 13日 (水) レコードとはやり歌 (2) - 娯楽産業へ
- ③ 7月 20日 (水) 新民謡 - 観光産業と新民謡
- ④ 7月 27日 (水) 演歌 - 政治運動からはやり歌へ
- ⑤ 8月 3日 (水) 近代のはやり歌を聴く